

学習活動

教科別の指導 国語「詳しく説明しよう」

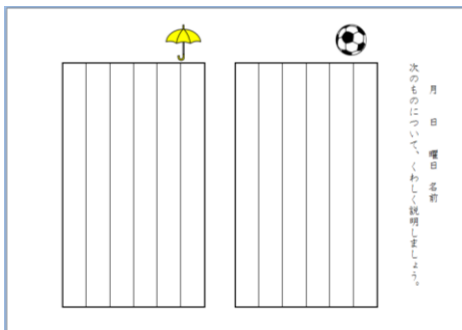
- 日記を通して、体験したことを順序立てて書く学習
- 身の回りのものについて、多角的にとらえ、相手に詳しく説明するスキルの獲得を目指す学習

活用の目的

- 一つのことを多角的に見る目を養うため、いくつかの写真を iPad で用意し、テレビに接続して提示して、用途や外観の特徴を捉えられるようにした。

活用の実際と工夫

- 「身の回りのものを詳しく説明する」ために、イメージをつかみやすくするために様々な写真やイラストを用意して、テレビに映して提示した。題材としては、サッカーボール、傘、鉛筆、消しゴム、歯ブラシ、食べ物等。



(左下)生徒が取り組んでいるプリント教材。「Drops」のシンプルなイラストだけでは、「これは傘です。」しか思いつかない生徒がほとんどであった。何枚かの写真を提示してヒントを出すことで、「色々な色のかさがあります。」「ビニールがさもあります。」「折りたたみがさはべんりです。」「雨がふった時に、手にもってつかえます。」「スーパーで売っています。」といったことに気づき、発表することができた。

活用の効果 ○効果 ●課題

- 板書や口頭での説明だけではイメージしづらいことを、写真で提示することによって、「多角的に見る」という視点が得られたようだった。ヒントを減らしても、自分たちで考えて説明できる場面が増えてきている。
- インターネットから画像を探して保存するだけなので、教材の用意を数分で行うことができた。
- ものについての見方から、出来事や人物に関しての見方へと内容を高次化していくためにも同様に使いたい。どのようにして授業を進めていくかは検討中である。